

秋田大学大学院教育学研究科 心理教育実践専攻 カリキュラムツリー

カリキュラム・ポリシー

CP1：教育課程は、共通科目、臨床心理士関連科目、公認心理師関連科目、学校心理士関連科目から構成され、幅広い視野から心理実践教育を理解し、すべての科目及び心理実践・研究活動が、現場の課題解決に貢献するための使命感と責任感、態度を備えた心理臨床の実践家の力量形成を目的としている。【使命感、責任感、態度】

CP2：授業は専任教員等による個別の実習指導や少人数のゼミナール形式等で行われ、心理臨床実践に関する専門知識や技能を教員から直接獲得できるようにする。
【豊かな人間性】【思考力、判断力、表現力】【実践力、省察力】

CP3：先行する学術論文の理解力を高め、プレゼンテーション能力を磨くことにより、課題研究の遂行（修士論文研究）に必要な研究技法とその知識を獲得できるようにする。
【分析力、構想力、表現力】

CP4：理論と実践との往還を重視し、共通科目等で獲得した技能・知識をもとに実践に繋げることを目的として、様々な現場に対応した実習科目を必修とする。
【豊かな人間性】【思考力、判断力、表現力】【実践力、省察力】

CP5：研究と実践との往還を重視し、共通科目等で獲得した技能・知識をもとに、実践に繋がる研究を自ら探求し、技能の促進及び新しい技能の開発が可能となる研究能力を高めるために、課題研究（修士論文研究）を必修とする。
【分析力、構想力、表現力】【実践力、省察力】

1年次

2年次

ディプロマ・ポリシー

共通科目（必修） 心理学研究法特別演習		課題研究（修士論文研究）	
臨床心理士・公認心理師関連科目（必修） 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）★ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）★ 臨床心理査定演習Ⅱ		臨床心理士・公認心理師関連科目（各科目群から2単位必修） C群 家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）★ ○ 臨床心理の倫理と関連行政論 D群 精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）★ 障害児支援におけるチームアプローチ（福祉分野に関する理論と支援の展開）★ ○ E群 投映法特論 心理療法特論	
臨床心理士・公認心理師関連科目（各科目群から2単位必修） A群 心理学研究法特論 心理統計法特論 B群 発達心理学特論 学習心理学特論 ○ 認知心理学特論 教育心理学特論 ○		公認心理師関連科目 心の健康教育に関する理論と実践★ 教育分野に関する理論と支援の展開★ ○ 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開★ 産業・労働分野に関する理論と支援の展開★	
学校心理士科目（2単位必修） 教育心理査定演習 ○ 学校カウンセリングの理論と実践 ○ 生徒指導特別演習 ○		修了により臨床心理士受験資格の取得 ★は公認心理師受験資格取得のための科目 ○は学校心理士資格取得のための科目	

理論と実践の往還

臨床心理士関連科目（実習）（必修） 臨床心理基礎実習 地域臨床心理基礎実習（秋田における心理支援の現状）		臨床心理実習 地域臨床心理実習（秋田の臨床支援施設実習）	
公認心理師関連科目（実習） 心理実践実習Ⅰ★		心理実践実習Ⅱ★	
学校心理士科目（実習） 学校カウンセリング実習 ○			

修士論文
論文審査・最終試験

心理専門職受験資格の取得
臨床心理士
公認心理師
学校心理士（修了後1年以上の実務経験で申請可能）

DP1：心理的な支援・教育をおこなう専門職として、修得した高度な専門的知識と実践的スキルを活かして、学校を含むさまざまな臨床現場の課題解決に貢献しようとする使命感と責任感、継続的に自己研鑽に励み、職業生涯にわたって学び続ける態度を身につけている。
【使命感、責任感、態度】

DP2：心理教育実践上の課題に対処するために必要となる高度な専門的知識と技能を修得している。
【専門的知識】

DP3：心理教育実践上の課題に対処するために必要となる、科学的・批判的、総合的・多角的な分析力、構想力、表現力を修得している。
【分析力、構想力、表現力】

DP4：心理臨床における科学者—実践者モデルの理解にもとづき、より有効な心理的支援を探求し、様々な現場に対応して自ら新たな実践知と技能を創造できる高度な実践力と省察力を修得している。
【実践力、省察力】